

## キャッチ番組審議会からのお知らせ

2020年9月24日に「2020年度 第1回 番組審議会」が開かれました。審議委員のお名前と会議の内容は以下の通りです。

### ■キャッチ番組審議委員

【刈谷市】丸山 靖司 委員／渡辺 多美子 委員 【安城市】鳥居 純 委員／筒木 麻三子 副委員長

【高浜市】横山 英樹 委員／神谷 美百合 委員 【知立市】高木 一恵 委員／岡田 浩 委員

【碧南市】羽野 彰 委員／茶谷 千芳 委員 【西尾市】鈴木 義宏 委員長／三浦 博美 委員

### 審議番組

キャッチの「新型コロナウイルスに関する情報発信」について

### 議 題

- ・地域メディアとして必要な新型コロナ情報が発信できているか？
- ・地域で求められている、または取り上げるべき新型コロナ情報とは？

#### ●丸山 委員

行政手続きが苦手な人に対して、特別定額給付金の申請方法などを分かりやすく伝えていた。また緊急事態宣言下でのニュース番組では、大村愛知県知事が出演し、時間をとって新型コロナに関する情報を伝えていたので良かった。そのほか、コロナ禍での介護施設や福祉施設の現状などを取材し伝えることは市民にとって参考になると思う。今後は、自粛中でも楽しめる情報を取り上げてほしい。

#### ●渡辺 委員

印象に残ったのはライブ配信で開催された碧南市のイベントの様子。このような時期だからこそ、明るい情報を出して欲しい。また、今後は新型コロナに乗じた特殊詐欺などの対策について取り上げてほしい。

#### ●鳥居 委員

感染者情報など具体的な数字などを踏まえたうえで、自分が住んでいる市だけでなく、地域周辺の情報も把握できて良い放送であった。今後は、新型コロナに関する正しい知識とは何なのか、医療専門家のアドバイスを発信してほしい。

#### ●筒木 副委員長

各市の感染者数やイベント中止情報など地域の細かい情報が発信されていて良かった。老人ホームの現状を取材した番組などはとても興味深く見ることができた。オンラインなどが普及しているなかで、今後は高齢者に使い方を説明する番組があっても良いかと思う。

#### ●横山 委員

テレビだけでなくWebでも情報発信しているのはスマホでも見やすく良かった。

コロナ騒動が始まったころに、色々な情報があふれ、実際にどんな病気なのか、どんな症状があるのか分からない状況が続いた。その当時の状況を考えると、発信されている情報は少し物足りないと感じた。特別定額給付金に関する情報は、記載例など、もっと具体的に説明しても良かったのではないかと。また、「コロナ禍をこの地域で生きる」の特集番組は良い連載物になっているなど感じた。再放送をしても良いのでは。

#### ●キャッチ制作1課課長 武田

特別定額給付金の申請書の書き方は、より具体的に説明をした別番組のほか、ネット上で繰り返し視聴できるよう、YouTubeでの発信にも取り組んでいる。「コロナ禍をこの地域で生きる」は、放送した内容をWebコンテンツ「近所のはなし」でコラム化し、情報を蓄積する形で発信している。

#### ●神谷 委員

コロナに関する番組については地域に根差した情報が発信されていて、バランス良く編成されていると思う。感染者情報はホームページで確認していたが、同年代の感染者は行動の注意喚起につながるのではないかと。

#### ●高木 委員

休校期間中の子ども向け特別番組に関しては対応が早く良かった。また、新型コロナに関する情報はWebでも発信していたため、加入していない人でも確認することができて良い。今後は、自分が感染した場合にどのような行動を取れば良いかなど、各個人の行動啓発につながるような情報発信をしてほしい。

#### ●岡田 委員

大村愛知県知事が出演した4月24日のニュースでは、時間を使いじっくりと知事の思いが伝わり良かったと思う。商店のテイクアウト情報や休校情報なども、他市と比較できて良かった。

#### ●羽野 委員

福祉施設や介護施設の現状は、その市の問題だけではないため、これからどうやって暮らしていくのかを考える問題提起になっているのではないかと。今後、Go Toキャンペーンの利用方法などを取り上げてくれると嬉しい。

#### ●茶谷 委員

休校期間中の子ども向け特別番組に関しては、新入生が早く学校に行きたいと思う内容になるともっと良かったのではないかと。新型コロナに関する情報については感染者数と生活情報がいち早く知りたいため、食料店、衣料店情報をWebで収集できて良かった。コロナ禍でほとんどのイベントが中止となるなかで、中止ではなく、やり方を変えていくことが必要だと感じるため、碧南市のオンラインイベントの取り組みも参考にしたい。今後もこのような情報発信を続けてほしい。

#### ●三浦 委員

不安を感じる日々が続くため、PCR検査に関する情報など、不安を解消できるような情報発信を今後もお願いしたい。また、Webなどでも新型コロナ情報を発信していることを知らなかったが、PRはどのようにしているのか？

#### ●キャッチ制作1課課長 武田

PRは自社の広告媒体や新聞広告などを活用しているが、まだ不足しているので地域の皆さんの生活をより良くしてもらうための情報発信を継続していきたい。

#### ●鈴木 委員長

3月の休校期間中に放送した「先生から子どもたちへ」は休校でさみしい思いをしている子どもたちにとって良いコンテンツであったと思う。給付金等の書き方については、より具体的に説明してもらえると良かった。委員の皆様のご意見を参考に、今後もより良い番組づくりをお願いしたい。